



Subaru

男声合唱団 ニュース№616 17. 7. 6

末廣亜矢子声楽教室「君死にたまふ・・」と 昂強化レッスン・特団レッスン開始！

6月30日/7月2日

□6月30日(金) 18:00~20:30 末廣亜矢子声楽レッスンが開催されました。佃さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、末廣亜矢子先生の3か月ぶりの特別レッスンを「君死にたまふことなれ」の1曲で、2時間かけてレッスンしました。特に発声の仕方を中心に貴重なアドバイスをうけて、声に出し、「君死にたまふことなれ」が一層輝く素晴らしい曲に仕上がる予感を抱かせました。ピアニストは西應静さん。参加者は全35名でした。



□7月2日(日)は13:00~15:00 昂強化レッスンが行われました。11回コンサートに向けて月1回第1日曜日にレッスンが設定されました。佃さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、今日は、本並先生の指揮で「フィンランディア」「仕事の歌」を本番のアカペラで声合わせを行い合唱練習しました。休憩・連絡事項の報告を挟んで、伊藤さんの指揮で、「降りつむ」をレッスンしました。

15:00より、「特団員とともに」の合唱練習が始まりました。今日は4名の参加があり、自己紹介がありました。沖縄支援の心を込めて、「沖縄を返せ」「労働者の合唱」「芭蕉布」「さとうきび畑」の4曲を譜面で音程・リズムを確認しながら合唱しました。今後、特団員の参加が増える見込みであり、さらにともにうたっていただける方々に勧めていきましょう。次回以降の曲作りが楽しみです。ピアノは森二三さん。参加者は全34名でした。



連絡・報告事項

(1)「守口 9 条の会・平和のつどい」 1月 16 日(日) 守口中央公民館 5F ホール

12:00 集合(13:00までリハーサル)

13:30 開演・オープニング出演

夏服・9 条バッヂ必携、軽い昼食持参または前もって食事をしておくこと。

(楽譜は参照可<黒表紙>だが、できるだけ見ないことが望ましい。)

演奏曲目：歓びのナーダム・ぶどうとかたばみ・林道人夫・千秋ソロ(2曲)・フィンランティア・このみち・街を返せ・昂・Six pence/(40分)

(出演後、ねむかホールに戻って15:00より「昂」定例レッスンを行います。)

当日司会の岡邑さんより、「ぶどうとかたばみ」の「lululululu--」に込められた作者の思い、「林道人夫」の労働と植林森林保護作業の大切さ、そして「街を返せ」の大阪市と同じ面積をもつ被災地・福島県浪江町の大きなこと、それが被爆したことの大変な現実を司会・MCの中で説明したいとの紹介がありました。

(2)南部地域合唱発表会 1月 23 日(日)天王寺区民センター

集合:9:45、舞台リハーサル:10:00、多目的室リハ:11:10、

本番:15:25 発表曲:「ぶどうとかたばみ」「このみち」

夏服・9条バッヂ。昼食は各自で。

(3)「日中友好コンサート 1月 25 日(火)クレオ大阪中央

16:00 集合・リハーサル、16:30 開演・オープニング出演(15分)

演奏曲目:「大海 故郷」「このみち」「仕事の歌」「歓びのナーダム」+「Six pence」

夏服(9条バッヂ):チケット 1,000円(500円昂還元)お誘いいただき、売ってください。

(4)昂第 11 回コンサートに向けて

①友人・知人・親戚等あらゆる人々に昂コンサートのチラシとチケットを届けましょう！

コンサート(12月3日(日)まであと5か月、団員のチケット配布(販売)の動きはまだこれからという状況にあります。コンサートは年末のみなさん多忙な時期に開催されます。腰を上げて、友人・知人に宣伝し、チラシとチケットを渡して来場いただくよう声をかけ、連絡してください。自信をもって昂の演奏のすばらしさと大改裝の会場の良さをしっかりと宣伝してください！

②特団員を増やしましょう！

沖縄支援の心を込めて、「沖縄を返せ」「労働者の合唱」「芭蕉布」「さとうきび畑」の4曲

レッスン日:7月2日・8月6日・9月3日・10月1日・11月5日・11月19日(6回)

練習場所:ねむかホール 15:00~17:00

現在7名の方から参加申し込みをいただきました。多くの方々にお誘いの声掛けをお願いします。

③舞台衣装を新調します。グリーンシャツ・3,000円/1枚

「君死にたまふことなけれ」一口レッスンメモ（6月30日レッスン）

○9~16 小節(Uh—Ah—)

(本並) pで入る。11小節～mp、クレシェンドへ、12小節デクレシェンドへ、13小節と14小節の最初の「Uh」fp(フルテピアノ)で、アタックした音で！、

15小節「Ah—」mp クレシェンド、16小節「Ah—」mfとしっかりとした音を出す。

(末廣)9小節～「Uh—」音量もっと落として！ソロの声がよく聞こえるように！特にソロの音が低くなっているところ(「きみなれば」の「な」)は「Uh—」抑えて出さないと聞こえない。1:40だということを考えて、一人一人が抑え気味にして、しっかり出して欲しい。

○13~17 小節(ソロ)「おやはやいばをにぎらせて ひとをころせとおしえしや ひとをころして死ねよとて にじゅうしまでを そだてしや」

Ⓐはソロの聞かせどころ。この曲の曲想は1小節づつやわらかくではなく、1小節づつ押していくかないと！1・2・3・4拍とある2・3・4拍目の詞をもっと強く表現して！「やいばを にぎらせて」「ころせと おしえしや」「ころして しねよ」「にじゅうしまで」「そだてしや」

⑧20~37 小節

「さかいのまちの あきびとの きゅうかをほこる あるじにて ～」: BS・BR の聽かせどころ！

「さかいのまちのあきびとの～」: ことばをはずませないで、淡々と歌う。「さかい」「まち」「あきびと」「あるじ」それぞれのことばの一言一言がはっきりと聞きとれるように！何を言っているのか分からぬでは困る。

「旧家を誇るあるじにてーー」: クレッシェンドしていく、ことばははっきりと！

26小節「きみ死にたもうことなけれ」: クレッシェンドからmfへ ことばしっかりと、はっきりと！

「いえのおきてに」: fでしっかりと「の」と「お」切ってうたう。

T1・T2

「りよじゅんのしろは ほろぶともーー」: 声の調子が甘すぎる！もっと言葉の一言一言を厳しい雰囲気で表現せよ！「ほろぶとも」を攻める感覚で！強く出す。甘くならないで！(旅順の城壁が戦の攻防で滅びるとはどういう場面か？)

「きみはしらじな あきびとの いえのおきてに なかりけりーー」: mf クレッシェンド fへ

T2:「なかりけり」で甘くなるな！詰めていく感じが欲しい！「なかりけり」の「な」は「uNa」ではっきりと。

(旅順 203高地で日本兵2万人が死んだ歴史の現実、その真っただ中で闘っている弟に、殺し合いの戦で「何があっても命は落とすな」と歌っている与謝野晶子)

34~37小節 ソロ 「Uh—」「Ah—」: ひらがなの「うー」「あー」でなく、ローマ字?の「Uh—」「Ah—」で発声して、響かせて！レガートで

○40小節～「きみしにたもうことなけれーー」: mpで抑え気味にして、母音抑えて、子音を出して！

46小節～「かたみに ひとの ちをながし ちをながし Uh—— UhUhUh」: 低音部 しっかり声出して！(3拍目4拍目)の音しっかりと出すこと大事！

⑤4小節「ああおとうとーたたかいいにーー

出だし、歌い方は①と同じでよい。3拍目・4拍目を押し気味に、甘くならない！低音部62小節「いたましくー」「いえをもりーおおみよも」: しっかり音揃えて歌うこと！「おおみよも」: 一つずつ はっきり出して、大きくしていく！

⑥67小節～「Ah—」「Uh—」: ピアノが壮大に鳴り響くところ。壮大な感じが展開される！声も壮大感を出していきましょう！ 日本語の「あー」「うー」の響きになっている。楽器の「Ah—」「Uh—」の音質に響くように声の出し

方の工夫をしよう！（胸と頭の上に手を当てて、前後左右の胸と頭を広げ、同時にのどの声帯を前後左右にひろがっている。声を出す。「Ah—」「Uh—」。胸から声が出ている！胸の中にi/e/o/uの粒がたくさんあって、それをたくさん出していく。「Uh—」「Ah—」とのばして出す。

「う」「あ」が一つの声の響きでなく、たくさんの「Uh—」「Ah—」の声の塊の響きとして聞こえる出し方。

2017 平和大行進に行ってきました！



しないのはヒバクシャへの裏切りであり、許せないと怒りの挨拶が続きました。その後しっかり汗をビールで流したことは言うまでもありません。小雨まじりの曇り空がすっかり晴れ渡りました。立川

昂1 1回コンサートコーナー

毎日新聞 2017.6.24(土) 第48442号 明治店

「平和でよかったです」言えるまで

【作曲家として沖縄の惨劇を伝えた】あの風の音の表現に悩む。サトウキイの葉が二十余年。「さわわ」にたどり着くまで約2年かかった。11番まで、「さわわ」を60回繰り返す歌が完成した日の夜、寺島さんは歌手である妻葉子さん(73)に歌わせた。「夫は沖縄での体験を伝えるよう、あれからずっとひとりで悩んでいたのか」と心を動かされたという。

歌の発表となる初演は67年5月。愛媛県新居浜市で、田代美代子さん(73)が歌った。葉子さんは次女で、ソプラノ歌手のタマ子さん(54)や



「さとうきび畑」の楽譜の原本を前に、寺島尚彦さんの思い出を語る妻の葉子さん=東京都船橋市20日、丸山博撮影

父を思う「わたし」が描かれる。父を早くに亡くした自身の経験と重ねた田代さんは、「わたしによくしてもらつていたが、涙を見せずに

歌うのが精いっぱいだった」と振り返る。歌詞からは、「わたし」の生まれた日は「わが生」の生まれた日が示されれる。田代さんは「終

沖縄戦題材「さとうきび畑」の歌50年



「さとうきび畑」の歌の半世紀	
1964年	寺島尚彦さんが初めて沖縄訪問
67年	田代美代子さんが初演
69年	森山良子さんがレコードデビュー
72年	沖縄県が本土復帰
75年	ちあきなおみさんによる歌を、NHKみんなのうたで放送
95年	テレビ音組の撮影で寺島さんが31年ぶり沖縄再訪
2001年	寺島さんはこの歌で日本レコード大賞の最優秀歌唱賞受賞
02年	寺島さんはこの歌で日本レコード大賞の最優秀歌唱賞受賞
04年	寺島さんは沖縄各地で巡回コンサート開催
12年	読谷村に歌碑完成
17年	初演から50年

さわわ　さわわ　さわわ　風が通りぬけるだけ。
さわわ　さわわ　さわわ　戦が纏めただけ。
さわわ　さわわ　さわわ　戦を題材にした歌「さとうきび畑」の発表から今で50年。サトウキイ畑に吹く風の音の「さわわ」の表象に込めた鎮魂の思いが今も人々の心をうなざしている。多くの歌手や、作詞作曲し、13年前に没した寺島尚彦さんの遺族も歌い継いだ。遺族は「一人人が『平和でよかったです』と言えるまで、歌の役割は終わらない」と気持ちを新たにしている。

心のざわわ終わらな、

月、初めて沖縄を訪れた。

また本土復帰前で伴奏者として参加したサイタル

の翌日、摩文の丘(糸満市)に続くサトウキビ畑を案内され、地元人の言葉

に衝撃を受けた。「この土

の中には戦没者の遺骨が埋

もれたまなんです」。畑

を吹き抜ける風の音に戦没

者たちの囁きが聞こ

えていた」と明かす。

53年前に寺島さんが歩いたサトウキビ畑は平和祈念公園に姿を変え、2012年には読谷村に歌碑が建つ。祈念公園の施設を管理する沖縄協会の元役員たちは、寺島さん一家と交流してきた比嘉正韶さん(74)が、那覇市では「サトウキビ畑を避けない。妻をかじって生き延びた一人一人の魂の記憶に訴えかける。歌い続けることが不戦の誓いになると話す。

今年も巡ってきた沖縄慰靈の日。タマ子さんは「この歌の持つ優しさや、命へのつながりが永遠に歌い継がれてほしい」と願う。